

楽しく過ごせる場を何とかしなければと考えています。例えばライブハウスをつくるのか、あるいは一万人収容のドーム球場をつくり、コンサートなどに使用してもらうとか、いろいろ努力中です。しかし市でできる範囲は限られてきますので、民間への働きかけもしていきたいと思っています。

〔問〕十和田湖、八幡平、マイナランド、大滝温泉、大館能代空港を有機的に結ぶ広域観光開発の一つとして、長木溪谷沿線に「七福神」を設置したらどうか。また、小坂鉄道を「七福神鉄道」に改称し、SLを運行するなど、通年観光の拠点として整備すべきと思う。

さらに、大館市と小坂町共催による「樹海ライン全国駅伝大会」の開催も提言する。

〔答〕大変ユニークなご提言だ

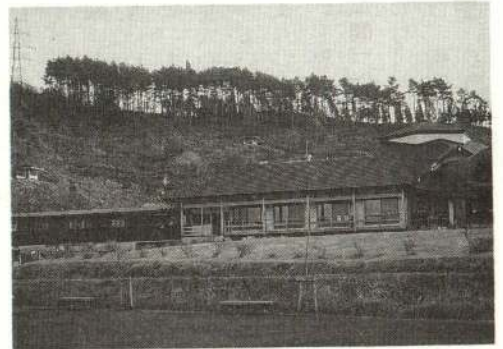
と思います。樹海ラインは、大館能代空港の観光アクセス道路として位置づけられ、整備が進められています。また、小坂鉄道にSLを通そうとする会ができるなど、長木溪流の景勝を生かした観光開発の気運が起きていますので、ご提言内容も含め真剣に取り組んでいきたいと思っています。

全国駅伝大会の開催については、現在実施している山田記念ロードレース大会を、樹海ラインコースで、しかもフルマラソンをとの要望がありますので、まずその点から検討していきたいと考えています。

〔問〕花は人々の心を和やかにしてくれたい。達子森一帯を花の森」として整備してほしい。春から秋までは色とりどりの花が咲き誇り、冬にはスキーと、年中人々が集える場としてほしい。

〔答〕市では、昭和六十三年度から達子森西側に桜、桃、梅の木を植栽したり、日本庭園、芝生広場、遊歩道、東屋、ベンチ、トイレ、ショウブ園などを設置したり、市民の憩いの場として整備しています。

今後も引き続き整備していきたいと思えますし、その中で、地盤が堅くシラス系の土質の達子森に適した花の選定、植栽も検討したいと思えます。



### 保健・福祉関係

〔問〕日本の年齢別人口割合の予測を見ると、二〇〇八年には四人に一人が六十歳以上になると言われている。これでは社会形成の保持が難しい。今から子供の数を増やしやすき環境づくりを進めていくべきだ。例えば、第三子以降の児童手当額を増やすとか、二十三歳までに結婚した人には手当を支給するとか、真剣に考えるべき問題だと思ふ。

〔答〕最近、いろいろな社会的要因もあって、子供が一人だけという人が多くなっています。子供を安心して生み、育てることのできる環境づくりは大切なことだと思えます。市では、現在国の各種制度に

上乗せ支給等をしてはいますが、これで十分とは思いませんので、今後とも努力していきたいと考えています。ただ、この問題は、社会全体の運動として発展すべきとも考えています。

〔問〕市立総合病院は完全看護と聞いているが、例外があれば教えてほしい。

〔答〕基準看護病院になっていますので、原則的には付添看護の必要はありません。ただ、乳幼児や小さい子供さんに親が付き添うこと、あるいは手術後の重症患者等の場合は、医師の許可を得て一定期間家族が付き添うことは、例外として認めています。

〔問〕総合福祉センターの完成は、高齢者にとっても希望のもてることだ。しかし、独り暮らしの老人が多い大館市には、老人ホームがもっと必要だ。楽しい希望のもてる福祉のまちづくりを進めてほしい。

〔答〕総合福祉センターができたからといって、高齢者福祉が全部できるものではありません。市では現在、「ふるさと21健康長寿のまちづくり」調査がスタートしていますし、デイケア、ショートステイ、ホームヘルパーの充実を図っています。また、福祉のまちづくりを目指して総合福祉エリアの設置を県に要望しています。



### 教育関係

いずれにしても、施設に入りたい人、自宅で暮らしたい人、いろいろ自分で好きな方法を選べ、そして満足していただけるような、東北一の福祉のまちづくりを進めていきたいと思えます。

〔問〕子供たちの夢をかなえるような、例えば大型遊園地や科学館、プラネタリウム等の施設を設置してほしい。

〔答〕子供たちが遊びながら楽しく自然科学を学習できるように施設等の設置は必要です。市では現在、既存施設の見直しと有効利用という観点から、峠の家に大型遊園地を取り入れることを検討しています。また、市民の森への天体望遠鏡設置も